



さいとう
和志

市政は今

浜松市中央区三方原町85-4
TEL・FAX:053-488-5011

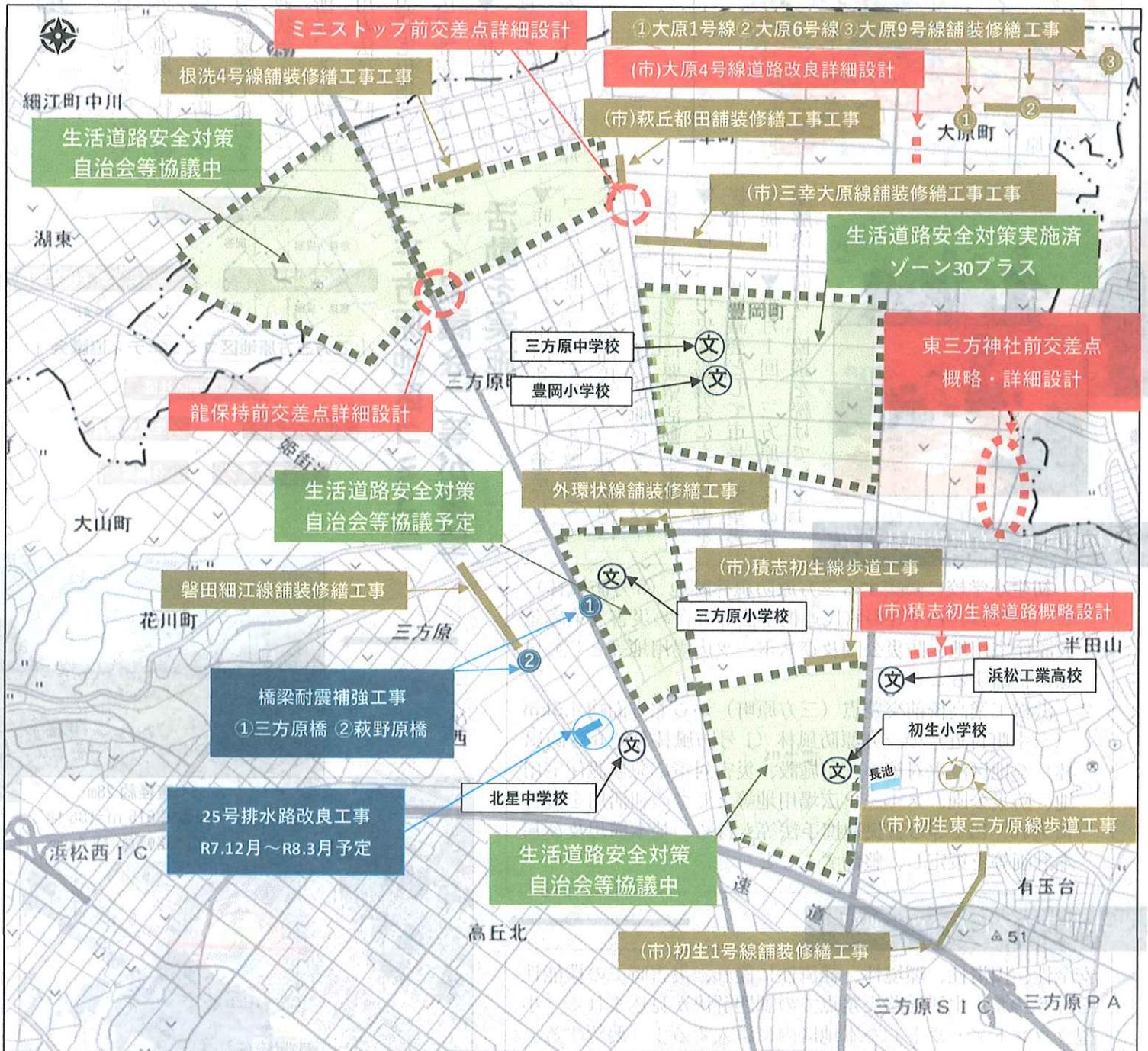
VOL2.NO.7



令和7年度の三方原地区における事業箇所別の大きな工事・設計等については、地区要望箇所も含め下図のとおりとなります。

工事費は約4億4千万円、調査設計は約5千4百万円程度となりますが、これ以外にも要望の多い小規模工事・安全安心な教育環境等についても随時実施するよう取り組んでまいります。

令和7年度三方原地区内工事・調査設計箇所図(さいとう作成)





さいとう
和志

市政は今

+ 視座

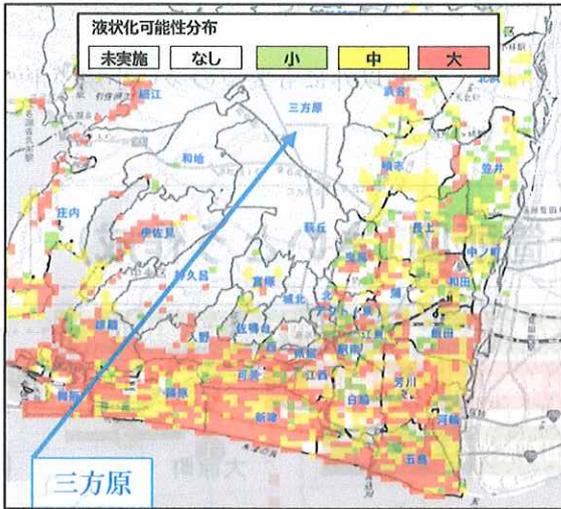
浜松市中央区三方原町85-4

TEL・FAX:053-488-5011

VOL2.NO.7



浜松市防災マップ 液状化可能性分布図



▼南海トラフ巨大地震の「新被害想定」が公表。本市では三方原台地以外の地域、特に南地域は宅地液状化が甚だしい。浜松市防災マップでご確認を。▼本市応急仮設住宅は約2万戸が必要、しかし、宅地液状化・津波等により実質的に建設できる場所は、その約3割程度。▼三方原防風林の活用方法は、貯水池機能は勿論のこと、応急仮設住宅用地として使える防災公園・スポーツ広場等が想定されるのではないのでしょうか。▼本年3月、初生町旧企業局跡地に広域防災倉庫が10棟完成、現在、毛布・簡易トイレ等を発注し、同倉庫に保管を急ぐ。

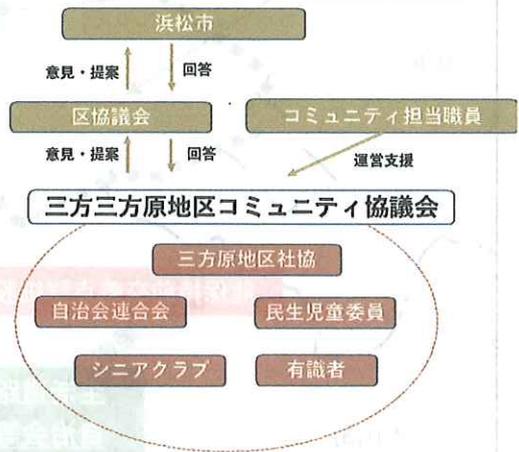
広域防災倉庫完成



浜松市所有三方原防風林要望

▼昨年8月に市内3番目に発足した「三方原地区コミュニティ協議会」(会長 鈴木登志郎氏)と「三方原地区自治連」(会長 大石英典氏)メンバー5名で市長あてに要望活動を実施。▼さらに、中央区協議会にも要望書を提出し、同協議会として市長に要望書を提出。▼毎月1回、三方原地区の課題解決に向け、協議を続けています。

「三方原地区コミュニティ協議会」等が要望活動を実施



- 1 初生小学校に隣接する三方原防風林跡地(8号防風林)については、PFI等の官民連携手法等も含め災害対策応急仮設住宅用地、防災公園及びスポーツ広場用地等として早急に整備すること。
- 2 浜松工業高校前交差点(三方原町)から北方面約4.5km(三幸町付近)の三方原防風林(1号防風林及び6号防風林)を地区浸水対策の貯留施設、災害対策応急仮設住宅用地、防災公園、スポーツ広場用地等としての利活用を視野に入れ、PFI等の官民連携手法等も含め、基本構想及び基本計画等を策定し、整備すること。

三方原防風林(8号防風林)



小型ラウンドアバウト要望

安全性、円滑性、環境性、経済性に優れ、災害時での機能性を併せ持ち、生活道路交差点での課題解決が見込まれる「小型ラウンドアバウト」を本地区内に導入するよう要望する。

天竜川駅北口広場